

千葉県言語聴覚士会ニュース

NO.22 2007年3月21日

目 次

第7回総会のお知らせ	1	臨床こぼれ話	10
学術局から	1	理事会等報告	11
社会局から	5	事務局から	12
施設紹介	9	求人情報	13

平成19年度 第7回総会のお知らせ

平成19年度 千葉県言語聴覚士会 第7回総会・第1回研修会を下記のとおり開催いたします。
会員数が300名を超え、会員のニーズにあった活動をさらに充実させていくとともに、それを支える組織の見直しが必要な時期になっています。総会は今後の県士会活動の方向性を決める重要な場ですので、皆様ご出席いただきますようお願いいたします。

また、総会の後には第1回研修会も開催されます。今回は「成人と小児の高次脳機能障害」がテーマです。貴重なお話が聞けるチャンスですので、皆様お誘い合わせの上ご参加くださいますようお願いいたします。

日時：平成19年5月13日（日）

13:00～14:00 平成19年度 千葉県言語聴覚士会 第7回総会

14:15～17:00 平成19年度 第1回研修会 （詳細は下記参照）

場所：千葉大学医学部附属病院

学術局から

1. 第1回研修会のお知らせ

小児と成人の高次脳機能障害支援モデル事業から学ぶこと ～理論と実践から～

* 日時：平成19年5月13日（日） 14時15分～17時

* 会場：千葉大学医学部附属病院3階 第1講堂

* 内容・日程： 講演会〔14:15～16:15〕

荏原 実千代 先生（千葉リハビリテーションセンター

小児神経科部長 医師）

大賀 優 先生（同脳神経外科部長 医師）

太田 令子 先生（同地域連携部長 心理士）

懇親会〔16:15～17:00〕

新人歓迎会を兼ねた懇親会です。皆様お気軽にご参加ください。

* 申し込み：同封の申込書に必要事項をご記入の上、FAXでお申し込みください。

2. 平成18年度 第4回研修会報告

平成19年1月28日(日)千葉県こども病院にて平成18年度第4回研修会を開催しました。今回は小児の高次脳機能障害をテーマに、症例検討会を行いました。参加者は43名(うち会員・会友33名、会員外10名)でした。研修会の概要と、当日行ったアンケートの結果を一部ご紹介します。

テーマ：小児の高次脳機能障害

提案者 斎藤 公人 先生 (千葉県療育センター)

「中度精神発達遅滞を伴う広汎性発達障害児のコミュニケーション支援について
- P E C S を実践して - 」

はたらきかけに応じにくく、自発的コミュニケーションの乏しい子どもに対する
P E C S の導入、家庭や指導場面での活用法を提案していただきました。

藤田 誠 先生 (亀田クリニック)

「就学をひかえたアスペルガー症候群と診断された小児への支援について」
検査結果や評価、日常生活のエピソードなどを踏まえながら、実際の対応方法や
検討すべき事項を提案していただきました。

コメンテーター 吉田 浩滋 先生 (鎌ヶ谷市幼児療育指導室)

笹本 しず江 先生 (流山市立江戸川台小学校)

司 会 太田 律子 先生 (東京医薬専門学校)

アンケート結果 参加者43名 回答者21名

1. 研修会に参加して：

とても良かった：20名 普通：1名 期待していた内容と異なった：0名

具体的に

- ・ 内容がわかりやすく、コメンテーターの先生方のアドバイスも実に理解しやすいものでした。
- ・ 軽度発達障害や自閉的傾向のある子に対しての支援について学べて良かったです。特に斎藤先生の P E C S の実践についての報告は興味深くきくことができました。私も機会があれば実践してみたいと思います。
- ・ 提案の内容・資料、助言者のアドバイス、どれも大変すばらしかった。
- ・ どちらの発表も丁寧で、内容もよく、ためになりました。ケース場面の空気を感じることができました。
- ・ 小児の分野にますます興味を持つことができた。
- ・ P E C S の理論を再確認できた。今日のポイントをおさえて、再度自分の指導を見直したい。

2. 研修会の感想

- ・ 本日の会はアットホームでとても参加しやすくよかったです。
- ・ 療育と教育との連携は今後とても重要であると感じました。園や学校の先生とも情報を交換し、その子にとって必要な支援を協力して行える態勢が大切だと思います。
- ・ 訓練の際には共感的な姿勢が大切だとあらためて感じました。
- ・ 日々奮闘されている先輩方の話を聞いて、自分自身の励みになりました。
- ・ アドバイザーのお二人の先生、司会の先生が発表者のポイントをまとめ、話を掘り下げてくださったので、頭に入りやすく、理解しやすかった。
- ・ 発表だけでなく、学校の先生のお話もきけてとても参考になりました。もっと勉強しなければと思うきっかけにもなり、参加して良かったです。

3. 情報交換会の感想

- ・ 千葉には様々な病院、施設等があり、皆さん積極的につながりを作ろうとされていることを知り、また地域の勉強会にも参加してみたいと思いました。
- ・ 貴重な機会だと思うので、もう少し長い時間を割いていただければと思います。
- ・ 日ごろ他施設の先生方にお会いすることがないので、とても良い機会でした。また、S Tの先生方だけでなく、養護学校やことばの教室の先生のお話もきけてよかったです。
- ・ もっと少人数で行う情報交換会も希望します。

4. 今後の研修会に対する意見

- ・ 小児の勉強会をもっと増やしてほしいです。
- ・ 学校の先生のお話をきける機会がほしい。

学術局より

今年度最後の研修会が無事に終了しました。今年は通常の研修会に加え、9月には初めての公開講座も実施しました。期待と不安の入り混じった挑戦の日々でしたが、会員の皆様のご協力により、こうして今年度最終報告を迎えることができました。協力してくださった運営スタッフの皆様と研修会参加者の皆様に心から感謝申し上げます。

今回、2名の若く熱心な先生のご発表に対し、2名の経験豊富な先生からご助言をいただきました。コメンテーターの先生方からは、母親指導に活用している新聞のコラムを集めたものや、県総合教育センターあての相談検査結果の見方など、それぞれのご経験から助言とともに様々なエピソードを紹介していただき、活発な意見交換の場になりました。ありがとうございました。

3. 研修会ビデオの貸し出しと資料の送付

1) ビデオの貸し出し

これまでに実施した研修会のビデオを貸し出しています。下記の要領でお申し込みください。

方 法：返信用封筒（B5またはA4サイズ）に住所、氏名を書き、切手（ビデオ1本270円分、2本390円分）を貼り、下記宛にお送りください。

宛 先：〒272-8516 千葉県市川市国府台1-7-1

国立精神・神経センター国府台病院 四方田 博英

貸し出しビデオ：対象となる研修会の詳細は、県士会ホームページをご覧ください。

貸出期間：1ヶ月

* 貸し出しについての注意 *

ビデオの販売はしません。ダビングは禁止です。ビデオを紛失、破損した場合はご連絡ください。

ビデオテープの代金を弁償していただきます。

2) 資料の送付

希望者に研修会資料を配布しています。返信用封筒（A4サイズ）に住所、氏名を書き、切手（200円分）を貼りお送りください。宛先はビデオ貸し出しと同様です。対象となる研修会についての詳細は、県士会ホームページをご覧ください。

4. 研修に関するアンケートの結果報告

昨年10月末に学術局で研修に関するアンケートを実施いたしましたので、結果をご報告いたします。

回答くださった方は108名で、回収率は36%でした。回答してくださった方の所属は、医療59%、福祉16%、教育11%、介護7%、保健1%でした。

希望する研修項目について所属別に集計をした結果、医療では高次脳機能障害が最も多く、次いで失語症、運動障害性構音障害がほぼ同率でした。いずれも訓練法の希望が多い傾向にありました。福祉で

は小児分野の希望が多く、学習障害、注意欠陥・多動性障害、広汎性発達障害、精神発達遅滞の順に多い結果でした。訓練法の希望が多い傾向にあります。症例検討の希望も高い割合を示していました。教育では、広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥・多動性障害、口蓋裂、精神発達遅滞の順に多く、症例検討の希望が多い傾向がありました。介護では、高次脳機能障害、摂食嚥下障害、運動障害性構音障害、失語症の順に多く、いずれも訓練法を希望する人が多かったです。保健は、回答者が2名であり、両名が希望したものは吃音（検査、訓練法、症例検討）、広汎性発達障害（訓練法）、注意欠陥・多動性障害（訓練法）でした。

具体的には、失語症、高次脳機能障害では社会復帰支援について、その他特別支援教育、介護保険、障害者自立支援法など言語聴覚士に関係のある制度についての研修の希望が寄せられました。また、他職種の講師による研修会、気軽に意見交換ができる場を提供してほしいなど多数のご意見をいただきました。詳細は同封資料をご覧ください。

皆様からのご意見を参考に、来年度は1年を通してすべての所属の方が均等に参加できるような研修会を現在計画中です。今後もよりよい研修会が提供できるよう努力して参ります。ご協力ありがとうございました。

5. 平成19年度研修会 提案者募集中！

来年度の研修会一覧は、総会で次年度計画が承認され次第、皆様にお知らせする予定です。同時に、症例検討会の提案者を募集いたします。今年度同様、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

平成19年度第1回研修会（5月13日）では、リハビリ従事者のみならず、障害を背負われたご本人・ご家族にも大変注目されました高次脳機能障害支援モデル事業を取り上げます。千葉県でこの事業の地方支援拠点機関でありました千葉県千葉リハビリテーションセンターから、担当された先生方を講師としてお招きいたします。日々の臨床場面で格闘しながら、新たな視点を取り入れたいと望む会員の皆様の声にお応えする機会になれるように願っております。皆様の積極的なご参加をお待ちしています。

6. 「生涯学習プログラム基礎講座」準備情報 第2弾

日本言語聴覚士協会が主催する「生涯学習プログラム基礎講座」の県士会開催への準備状況をお知らせします。

日程は年度の後半で、会場は千葉駅周辺、講師は県士会員と関東近県の講師とし、全講座を2日間で受講できるように準備しています。

「生涯学習プログラム基礎講座」は、言語聴覚士の業務の基本となる講座です。主たる対象は卒後3年以内の言語聴覚士ですが、業務経験の浅い方はもちろん、ベテランの方でも今までの経験を整理する上で役に立ちます。講座開講の折には、ぜひ受講いただきますようご案内いたします。

7. 「地域の勉強会」での症例検討会に参加しませんか？

会員の皆様のご協力により、各地域で勉強会が開催されています。同封の「地域勉強会一覧」をご参照の上、奮ってご参加ください。また、ホームページではこの情報について随時更新を行っていますので、ぜひご利用ください。

特に小児の分野で新たな動きがあります。特別支援教育がいよいよ開始されるという大きな流れの中で、千葉県言語聴覚士会はその最前線で活躍しているST、教員など様々な職種の方々との協力関係の構築を支援しています。これまで、病院勤務のST、学校現場のST、養護教員など、立場が違ってしまふと共通のこどもの成長に携わっていても、なかなかお互いにコミュニケーションがとれないという声がたくさん寄せられていました。そこで当会の特別支援教育委員会を中心として、「多職種合同勉強会」を県内各地に発足させ、発展させようとしています。一覧表を同封いたしますので、ぜひご活用ください。

特集：私の地域の勉強会

県内各地で行われている勉強会を順番に紹介しています。今回は、「千葉地域勉強会」です。

千葉地域勉強会

会場：千葉中央メディカルセンター 集団言語室

代表：武田 智子（千葉中央メディカルセンター）

千葉地域勉強会は、成人の失語症、高次脳機能障害、摂食・嚥下障害の症例検討を中心に1～1.5ヶ月に1回の頻度で行っています。

参加者はSTが中心で、対象とする患者様の層や疾患は様々です。そのようなST同士が集まり意見交換することで、自分の日々の臨床活動を見直すきっかけになるようにも感じています。難しいケースや臨床で疑問に感じることも、気軽に相談しあい、それぞれの視点から自由に意見交換する雰囲気なので、とても有意義な勉強会となっています。会場は千葉市若葉区加曽利町にある千葉中央メディカルセンターです。お近くの方は、ぜひお気軽にご参加ください。



千葉中央メディカルセンター 榎本 美智子

社会局から

1. 第1回リハビリテーション公開講座 運営委員会報告

千葉県PT・OT・ST士会主催、千葉県医学懇話会協賛の「第1回リハビリテーション公開講座」の概要に関しては前回のニュースでもお知らせしましたが、去る2月6日（火）に第3回運営委員会が開かれたので、検討された内容をご報告します。

1. 名称：第1回リハビリテーション公開講座

2. 内容：

基調講演：演者 千葉県千葉リハビリテーションセンター長 吉永 勝訓 先生

演題「病院におけるリハビリテーション医学 ～急性期から回復期まで～」(仮)

時間 30分間

各士会から：「病院におけるリハビリテーション医学 ～急性期から回復期まで～」の内容で各士会のできることを話す。

時間 各15分

3. 予算の配分：ポスター作成・配布に力を入れる。

4. 当日の相談：当日、各士会から2名ずつ相談担当者をおく。相談室は2部屋で言語聴覚士会は1部屋で行う。相談申し込みは当日受付とする。

5. その他：PT・OT士会の公開講座も一緒に実施することを検討している。

コラム：法人化あれこれ

法人といってもいろいろな種類がありますが、県士会のような組織は、一般社会に対しての公益性が認められれば、公益社団法人となることができます。

法人になる前の準備

法人になるためにはいくつかの準備が必要です。まず、法律に則った定款をつくり、会計処理を整備しなければなりません。また、拠点となる事務所を持つことが必要になります。さらに、会の活動の50%以上に公益性があることが認定されるように事業全体の見直しが必要になります。この公益性は、現在着々と進行している公開講座や相談活動、特別支援教育制度への参入、ホームページの公開等が充分該当すると思われます。

法人になるとき

手続きとしては、まず申請手続きを行い一般社団法人になります。この法人は基本的には登記のみで設立することができます。一般社団法人は行政庁の監督を受けないため自主的自律的な運営が必要になる組織です。その上で、公益性があるという認可の申請を行い、これが公的な合議制の機関で認められると公益社団法人となることができます。公益社団法人になると、行政庁の監督を受けることとなります。つまり県から守られる組織となります。

法人になってから

公益法人は、監督庁である行政機関に定期的な報告が求められます。また、会の運営について一般に公表する必要があります。しかし、利益団体ではないため、税金がかかることはありません。企業にとっては公益法人に寄付することが税金対策になることもありますので、寄付収入が増えることが予想されます。また、事業の公益性を維持するためには、一般向けの相談事業や公開講座等を数多く開催する必要が出てきますが、このような機会は、言語聴覚士としての経験が豊富で、すでに現職を退いている方々、あるいはこれから現職を退かれる方々がますます活躍していただける場となります。

不安がいっぱい

法人化のための準備や手続きは少々専門的な知識が必要で勉強しなければならないことが多そうです。また、会員の皆さんにご理解いただくための勉強会などの活動も行う必要があります。さらに、法人になってからの運営がどうなるか見通しが持てません。このため、会員の負担が増えるのではないかと不安が大きくなります。役員の負担はどうなるのだろう、一部のよく知っている会員に結局負担が集中するのではないかと・・・等々。また、行政庁の監督を受けることになると、県の下請け業務みたいなことをたくさんやらされるのではないかとということも不安です。つまり本来、県が主体となって行うべき業務を横流しされるのではないかと・・・等々。結局、不本意な活動を行うことになってしまうのではないかと、といった不安も当然あると思います。

このような不安を出し合うことを出発点として、法人化を含め県士会の組織の在り方を考えていく必要があると思います。

(文責 社会局 庄司)



委員会から

特別支援教育委員会

多職種合同勉強会に関するアンケート結果報告

平成19年度の本格実施を目前にした「特別支援教育」の制度は、乳幼児期、学齢期、卒業後、生涯学習という個人の一生を視野に収めた「個別の支援計画」のなかの、特に学齢期に焦点をあてた制度です。

特別支援教育委員会は、その前身である特別支援教育に関する実態調査委員会の時に、平成18年6月の千葉県言語聴覚士会(以下、県士会)総会において、特別支援教育に関わる者の資質の向上、関係機関との連携の強化、を図る必要があることを提言しました。のための場は、すなわちのための場でもあります。その場を作る活動は、その後県士会理事会にて平成18年度の活動として承認されました。

具体化するに当たって関係者のご意見・ご要望を集約し協力者を募るために、平成18年9月3日に県士会が主催した県民公開講座時には、「軽度発達障害のある子どもたちへの支援」に出席した方々に、10月には、県士会会員・会友の方々に、アンケートを行いました(結果、後述)。

その結果、会員・会友を初めとする多くの関係者がのための場を望んでいることがわかりました。特別支援教育委員会ではその“場”を多職種合同勉強会と名づけ、地理的に参加しやすいように県内各地域で会が開かれるよう、計画しています。また、会の運営や関係する他の勉強会等との連携をになう連携担当員になってくださる方を、引き続き探しています。特に、東上総地域での連携担当員の受け手がみつかっておりません。皆様の日頃よりのご協力に感謝いたしますと共に、今後のより一層のお力添えをお願い申し上げます。

県民公開講座(2006.9.3)当日アンケート(「軽度発達障害児への支援」アンケート)の分析

1. 調査目的

県民公開講座シンポジウム「軽度発達障害児への支援」への参加者の、多職種の専門家による検討会や連携する会に対する意向を集約し、設置を計画している多職種が連携する会の性質に反映させるため。

2. 調査結果 講座参加者163名(会員・会友49名、一般の方114名)

参加した家族46名中、回答者は12名でした。そのうち10名が、お子さんの指導・支援について多職種の専門家による検討会を望むと回答しました。

参加専門職(ST他)106名中、回答者は41名おり、そのうち多職種の症例検討会や会議の場があったら利用したいと答えた人は20名、条件が整えば利用したいと答えた人は19名でした。利用したいという人が圧倒的に多いという結果でした。整える必要がある条件としては、日程12名、距離10名、費用9名、自身の職場の理解6名、その他2名でした。利用しやすくするためには、これらの条件への配慮が必要であると考えます。

3. 考察

このアンケートに回答した方は、会員・会友よりも一般の方のほうが多かったため、多職種が連携する会に関する会員・会友の意向は、別途のアンケートで詳しく調べる必要があると考えました。

特別支援教育に係る多職種による合同勉強会に関するアンケートの分析

1. 調査目的

多職種（ST、PT、OT、心理、教員、コーディネーター、ジョブコーチなど）による合同勉強会の開設を検討するに当たり、県士会全会員・会友の意向を集約し、協力者を募るため。

2. 調査結果 アンケート回収率は、106 / 300通、35%でした。

(1) 回答者の構成

所属（複数回答）は、医療67名、福祉23名、教育15名、老健7名でした。乳幼児から高校生までを対象とする人は67名、成人のみを対象とする人は45名と、前者が多かったです。

(2) 多職種による合同勉強会

成人のみを対象としている人も含めて、合同勉強会を必要と考える人が多いという結果でした（92名 / 106名）。近くに多職種との定期的な勉強会、症例検討会があると答えた人は少なかったです（17名 / 90名）。近隣に多職種との会ができたなら参加すると答えた人は44名 / 71名で、約6割です。わからないと答えた人は24名 / 71名、参加しない人は0名 / 71名と、参加する人が多いという結果でした。

会の内容に関する希望は、選択項目とした症例検討、新しい知識・教材などの研修、地域の実状に関する情報交換のいずれも、同程度に希望されていました。

(3) 意見

6割近い方が意見を書いていました。意見・要望は多岐にわたり、合同勉強会を立ち上げるにあたっては、地域の実態に合わせることが大切と考えられました。

(4) 協力者

企画・運営への参加、会場提供など、協力していただける方が5名挙がりました。

3. まとめ

- ・ 成人のみを対象としている人も含めて、合同勉強会の必要性は多くの会員・会友が認めています。
- ・ 現在は多職種との会に出席している会員・会友は少ないですが、近隣に作られたら参加するという人は多いという結果でした。
- ・ 協力者と共に、意見・要望を参考にして地域の実態に合わせた魅力のある会を立ち上げることは、今後の特別支援教育委員会の活動の一環として位置づけられるべきであると考えました。



実態調査委員会

実態調査委員会では、昨年4月に改定された医療保険診療報酬制度が、STの臨床現場にどのような影響を及ぼしているのかについて、県内の医療保険機関を対象にアンケート調査しました。その結果、STの訓練時間数や対象患者の訓練期間に大きな変化は見られなかったものの、集団療法の廃止や維持期の受け皿の不備などの問題点が指摘されました。結果の詳細については後日報告書にまとめてお知らせいたします。ご協力ありがとうございました。

施設紹介

新松戸中央総合病院・・・・・・・・・・・・・・・・・・ S T 山川 直行

新松戸中央総合病院は、松戸市の新松戸駅から徒歩2分という交通の便に恵まれた場所に位置しています。当院は283床の一般急性期病院であり、救急患者様を積極的に受け入れています。

当院のリハビリテーション科は現在ST1名、PT9名、助手1名で構成されています。平成19年度からはST1名、OT3名が新たに増員されることが決まっており、現在よりも患者様に対して包括的にリハビリを行うことができると考えています。また病院の改築を行う予定であり、病床数も50床増床予定です。そのためリハビリに対するニーズも一層高まってくると思われます。

STの関わりは、失語症、高次脳機能障害、認知症、構音障害、摂食・嚥下障害の患者様に対し、個別訓練を行っています。当院は急性期病院ですので、発症直後から患者様に関わることがほとんどです。今回の診療報酬改正で、2ヶ月以内には回復期のリハビリ専門病院に転院する患者様も多いですが、自宅に退院される患者様の場合はそのまま外来でリハビリを継続し、急性期から回復期、慢性期にかけて一貫して関わらせて頂いております。

今回の診療報酬改正ではリハビリに日数制限が設けられ、それに対する対応や書類作成などに気をとられがちですが、臨床という一番重要な部分を常に念頭に置き、頑張っていきたいと思っております。

〒270-0034 松戸市新松戸1-380

TEL: 047-345-1111

新八千代病院・・・・・・・・・・・・・・・・・・ S T 久木田 純子

新八千代病院は、療養型病床295床の中に平成17年1月から回復期リハビリテーションを立ち上げ、現在回復期リハビリテーション病棟は96床で運営しています。また、家庭での療養生活を支援するため、在宅診療部を中心に訪問診療、居宅介護支援事業、訪問看護、訪問リハビリテーションも行っています。平成18年4月の診療報酬改訂に伴い、脳血管疾患等リハビリテーション() 運動器リハビリテーション() 呼吸器リハビリテーション()を取得しています。また同年10月には、千葉県から東葛南部地域の地域リハビリテーション支援センターに指定され、地域のリハビリテーション実施機関への支援や研修も行っています。

現在、言語聴覚士は常勤4名と非常勤1名で、失語症・dysarthria・摂食嚥下障害・高次脳機能障害などを対象に訓練を行っています。中でも摂食嚥下障害に対してはチームアプローチに力を入れ、耳鼻科医、嚥下歯科医を中心に、病棟、リハビリスタッフ、歯科衛生士が協力し訓練を行っています。高次脳機能障害に対しては、臨床心理士も加わり各専門職が協力して訓練を進めています。

今後は、回復期病棟増床に向けて積極的なチームアプローチに力を入れると共に、急性期・回復期・維持期に対応した質の高いリハビリテーションを提供できる体制を一層強化していきたいと考えています。入院から在宅まで総合的に提供し、近隣の病院・施設・他機関との連携を深めていきたいと思っております。

〒276-0015 八千代市米本2167

TEL: 047-488-3251

臨床こぼれ話

吉田流パソコン活用術

子どもたちの指導にパソコンを使っています、というときさまざまな反応が返ってきます。「絶対にやめてください」とは高校の同級生から言われた言葉で、その理由を聞き、なるほどと思いましたので、それまでも守ってきた『キーボードに触れることができるのは私だけ、あなたは私というインターフェイスを使わないとパソコンにアクセスできませんよ』というルールを守っています。

臆病だといわれるでしょうが、私自身、ネットは犯罪者の巣窟だ、という信念に些かも揺るぎは無く、未だに「寄らず、離れず、だまされず」というのがネット・リテラシーの原則だと信じています。とはいっても、パソコンそのものは利用価値があるものなのでよく利用しています。子ども用の国語・算数のソフトも使ったことがあります。ゲーム性はあっても論理的に考える力をつけるものとしては使えないと思っているので、使うソフトは「ワード」と「エクセル」のみです。

今回はここで「エクセル」の用法を紹介しますが、これはある軽度発達障害の少年の指導を通して工夫し、見つけ出したものなのです。その少年は算数の文章題を読むと、その直後に答えが湧いてくるという特技がありました。いくら式にしよう、絵にしようといっても無理で、後に絵を描くことが出来ないことを知り、驚いたほどです。

そこで彼と使ったのが「エクセル」。セル一つずつに式を入れ、あるセルに条件として問題に出ている数を入れさえすれば、エンターキーを一回叩くだけで答えがでることを丁寧に教えました。

「きっと、君の頭のなかでも同じことが起こっているはずだけど、それをここでやってみよう」と誘い、デモしながら説明をしました。やはり、というかエンターキー発で答えがでるところが気に入ったようで、彼とは文章題を間に置き、彼はそれから導かれる式を私に指示をし、私がセルに直接入力するということが続けました。

こうやって「エクセル」を使っていくと、文章題を解くための道筋がよくわかります。問題の条件を変えることも自由にでき、使えば使うほど「エクセル」の便利さに驚きました。もし、「エクセル」を乗せたパソコンを持っているのであれば、算数の文章題を解く式をセルに入れていってはいかがでしょうか。

その少年のその後ですが、今では「エクセル」無しで式を紙に書き、答えを出すことができるようになっていました。

吉田 浩滋（鎌ヶ谷市幼児療育指導室）



理事会・委員会報告

平成 18 年度 理事会

第 1 1 回

日時：2006 年 12 月 17 日（日）10：00～13：30 場所：プラザ菜の花 2 階 サークル室 pal B 室
出席者：猪野 宇野 岡田 斉藤 庄司 野島 野原（以上理事 7 名） 長谷川（特別支援教育委員会委員長代理）
書記は庄司が兼務
（事務局より）・入退会承認 ・第 10 回理事会議事録承認 ・県士会ニュースの求人広告欄の扱い ・年会費督促状
・日本言語聴覚士協会都道府県士会協議会参加資格確認 ・今年度の理事会反省と課題 ・事務所開設の検討
（学術局より）・第 4 回研修会計画 ・研修に関するアンケート結果
（社会局より）・養成校リーフレット配布時期と部数 ・ホームページ新コーナー ・法人会計に関する情報収集
（特別支援教育委員会より）・多職種勉強会アンケート結果 ・多職種勉強会計画 ・今年度反省と次年度計画
（新生児聴覚スクリーニング検討委員会より）・今年度の反省と次年度計画
（その他）・日本言語聴覚士協会生涯学習基礎講座講師養成講座参加候補者 ・3 士会合同公開講座パネル借用
・平成 19 年度ちば県民保健予防基金事業助成金対象事業の募集

第 1 2 回

日時：2007 年 1 月 14 日（日）10：00～12：10 場所：プラザ菜の花 2 階 サークル室 pal B 室
出席者：猪野 岡田 斉藤 庄司 野島 野原 四方田（以上理事 7 名） 酒井（書記）
（事務局より）・入退会承認 ・第 11 回理事会議事録承認 ・決算報告途中経過 ・事務所開設の検討 ・礼状・賀状
・休会届け
（学術局より）・第 4 回研修会スケジュール ・研修に関するアンケート結果 ・第 3 回研修会反省
（社会局より）・養成校リーフレット配布挨拶文 ・今年度の活動と次年度法人化検討に関する委員会の設置検討
（その他）・日本言語聴覚士協会生涯学習基礎講座講師養成講座参加候補者依頼状況 ・他県の研修会の HP 掲載
・総会日時

第 1 3 回

日時：2007 年 2 月 10 日（土）18：40～20：50 場所：船橋市勤労市民センター 2 階 第二和室
出席者：猪野 宇野 岡田 斉藤 庄司 野島 四方田（以上理事 7 名） 長谷川（特別支援教育委員会委員長代理）
中村（書記）
（事務局より）・入退会承認 ・第 12 回理事会議事録承認 ・県士会ニュース 22 構成
・平成 19 年度総会・第 1 回研修会の日時、会場 ・総会議案書事業報告形式 ・総務部今年度反省、次年度活動方針
・編集部今年度反省、決算、次年度活動方針、予算案 ・財務部今年度反省、次年度活動方針
・今年度決算報告と次年度予算
（学術局より）・第 4 回研修会報告、アンケート結果 ・今年度反省、次年度活動方針、予算案 ・第 1 回研修会案内
・生涯学習プログラム基礎講座日程、講師
（社会局より）・渉外部今年度反省、次年度活動方針、予算案 ・広報部次年度予算
（特別支援教育委員会より）・多職種合同勉強会 ・今年度反省、次年度活動方針、予算
（実態調査委員会より）・次年度活動方針、予算
（その他）・組織変更案

特別支援教育委員会

第 5 回

日時：2006 年 12 月 10 日（日）16：00～19：30 場所：千葉大学附属病院リハビリテーション部 言語聴覚室
出席者：和泉澤 太田 古森 高畑 野島 長谷川 宮本
・多職種合同勉強会アンケートの分析、構築計画 ・今年度反省、決算、次年度計画、予算 ・柏地区研修会計画

第6回

日時：2007年1月13日（土）19：00～22：10 場所：千葉大学医学部附属病院リハビリテーション部 言語聴覚室

参加者：太田 古森 高畑 野島 長谷川

・合同勉強会の検討 ・これまでの小児の検討会実施が弱くなってきた理由の検討 ・次年度の計画

（紙面の都合上、報告事項と協議事項はまとめて記載しています。）

事務局から

1．年会費納入のお願い

重要

本会の年会費は前納制となっています。平成19年度の年会費をまだお支払いいただいていない方は、大至急お振込みくださいますよう、お願いいたします。本会の会則により、2年以上会費未納の場合、退会処分となりますのでご注意ください。総会、研修会当日も年会費の納入を受け付けております。ご利用ください。

2．リーフレットの配布

千葉県言語聴覚士会のリーフレットを所属施設に置きたい、研修会などで配布したい等のご希望がありましたら、必要部数と連絡先を明記し、事務局までお申し込みください。追ってご連絡いたします。また県士会ホームページにも掲載されていますので、ご覧ください。

3．新入会員のお知らせ（敬称略）

会員数：正会員266名、会友37名、賛助会員5団体＋1名

（平成19年3月4日 理事会承認分まで）

... 正会員 ...

相楽 涼子（東京女子医科大学付属八千代医療センター）
小嶋 知幸（市川高次脳機能障害クリニック）

遊佐 規子（千葉県柏市立柏第3小学校）
伊藤 みや（初台リハビリテーション病院）

... 会友 ...

猪又 由子（東京医薬専門学校）
廣谷 真（千葉県立袖ヶ浦養護学校）

中島 由香里（慈誠会記念病院）

編集後記：暖かくなってきました。道端に咲いている花を見ると心が和みます。

次年度は役員交代の年です。今まで支えてくださりありがとうございました。

事務局

〒272-0823 千葉県市川市東菅野2-12-4 市川ことばの会 内

TEL/FAX：047-324-5023

E-mail：chibakenshikai@zp.moo.jp

ホームページ：http://chibakenshikai.moo.jp/ 会員専用パスワード：affordance

..... 求人情報

(2007年3月8日現在)

詳細は千葉県言語聴覚士会ホームページをご覧ください。

介護老人保険施設 まつど徳洲苑

募集：言語聴覚士 常勤又は非常勤 1名

(経験者を希望しますが新卒でも可)

対象：入所、通所リハビリテーション

〒270-0001 千葉県松戸市幸田 180-1 まつど徳洲苑

電話 047-309-7172 (事務長 石川)

医療法人社団真療会 野田病院

募集：言語聴覚士 常勤 1名

対象：脳血管疾患

千葉県野田市中里 1554-1 電話：04-7127-3200

リハビリテーションセンター長 水梨勝次

医療法人沖縄徳洲会 四街道徳洲会病院

募集：言語聴覚士 常勤 1名 (新卒、既卒いずれも可)

対象：成人の失語症、構音障害、高次脳機能障害、
嚥下障害など

四街道市吉岡字入輪戸 1830-1 電話：043-214-0111

総合医療センター 成田病院

募集：言語聴覚士 常勤 1名

(新卒者および経験3年未満の方)

対象：(成人)失語症、構音障害、嚥下障害

〒286-0845 千葉県成田市押畑 896

電話 0476(22)1500 担当：事務局長 星(ほし)

浦安市教育研究センター

募集：言語聴覚士(経験者優遇)

対象：0才～15才、保護者、教員に対する言語相談、
検査、巡回相談

〒279-0011 浦安市美浜 5-12-1

電話 047-381-7961 浦安市教育研究センター 山高

NPO 法人千葉ステップアップ教室

募集：言語聴覚士 (経験者優遇)

対象：小児の相談・指導

〒263-0023 千葉市稲毛区緑町 2-14-4 逸見ビル 3F

電話 043-238-2886 担当：行木・矢内

ウェルピア かつしか

(葛飾区地域福祉課・障害者センター)

募集：言語聴覚士 非常勤

対象：区内在住の常時介護を必要とする知的障害者、または
身体障害者 個別・集団の言語訓練の両方

東京都葛飾区堀切 3-34-1 電話 03-5698-1329

葛飾区福祉部障害者施設課 横井辰江様宛

柏市ことばの相談室

募集：言語聴覚士 産休育休代替臨時職員

対象：幼児とその保護者の言語相談指導

〒277-0005 柏市柏 5-8-12

柏市教育福祉会館 2階 ことばの相談室

TEL&FAX 04(7163)9277 (担当山崎)

ユーカリが丘訪問看護ステーション

募集：言語聴覚士(常勤・非常勤)

対象：訪問リハビリテーション

〒285-0859 佐倉市南ユーカリが丘 2-1

プレシオ南ユーカリが丘 1階 電話 043-460-3344

まつした・長谷川

八千代リハビリテーション病院

募集：言語聴覚士 2名(有資格者、新卒も可)

対象：(成人)失語症、構音障害、嚥下障害

〒276-0031 千葉県八千代市八千代台北 6-7-3

電話 047-483-1555 今井、田中

新松戸中央総合病院

募集：言語聴覚士 常勤 2名

対象：成人の失語症、構音障害、高次脳機能障害、
嚥下障害など

〒270-0034 千葉県松戸市新松戸 1-380

電話 047-345-1111 担当 事務長

医療法人社団心和会 新八千代病院

募集：言語聴覚士 常勤 (できれば経験者を望む)

対象：成人失語症、構音障害、高次脳機能障害、嚥下障害

千葉県八千代市米本 2167 電話 047-488-3251

担当 事務長 立崎、リハビリテーション科 藤田

医療法人 吉栄会 吉川病院

募集：言語聴覚士 常勤

〒596 - 0813 大阪府岸和田市池尻町 98 番地

電話 072 - 445 - 3721 事務局 佐野陽子

社会福祉法人あそか会 あそか病院

募集：言語聴覚士 正社員（有資格者、未経験者も可）

対象：高次脳機能訓練、成人失語症訓練、構音障害訓練、
嚥下障害訓練等

〒135 - 0002 東京都江東区住吉 1 - 18 - 1

電話 03 - 3632 - 0290 総務課 本多

成田ことばの相談室

募集：言語聴覚士 非常勤 1 名（有資格の経験者を希望）

対象：小児（就学前児）の言語・聴覚相談及び訓練

〒286 - 0017 千葉県成田市赤坂 1 - 3 - 1

成田市健康増進課 電話 0476（27）1111（担当：齊藤）

らいおんクリニック

募集：言語聴覚士 常勤 1 名（非常勤も可）

有資格者もしくは平成 19 年 3 月取得見込みの方
千葉県市川市行徳駅前 4 - 2 - 6

電話 0473 - 06 - 7778 理学療法士 沼田

介護老人保健施設 ユー・アイ久楽部

募集：常勤言語聴覚士 新卒

対象：成人言語障害、嚥下障害

市原市西広 131 電話 043 - 620 - 0701

事務長古泉、リハ課課長西山

医療法人静和会 浅井病院

募集：言語聴覚士 常勤・非常勤（勤務日数応相談）

対象：成人の失語症、dysarthria、摂食・嚥下障害等

〒283 - 8650 千葉県東金市家徳 38 - 1

電話 0475 - 58 - 5000 企画管理浅岡・S T 若梅

ゆざ耳鼻咽喉科サージセンター千葉

募集：言語聴覚士 1 名（正社員）

対象：各種聴覚検査（乳幼児を含む）、補聴器適合検査
その他耳鼻咽喉科疾患における各種検査業務

〒266 - 0043 千葉市稲毛区小中台町 352 - 1

電話 043 - 254 - 3000 担当：相川

介護老人保健施設 松原徳洲苑

募集：新卒・経験者 1 名 常勤（非常勤、パートも可）

対象：成人言語機能評価・訓練、摂食嚥下機能評価・訓練

大阪府松原市天美東 7 - 13 - 26

電話 072 - 334 - 3402 事務長代理 山川

三矢会 八街総合病院

募集：言語聴覚士（経験 3 年未満）

もしくは来年度資格取得見込みの方

直通電話 043 - 443 - 7313 理学診療科 課長 小林

富里市簡易マザースホーム

募集：言語聴覚士（非常勤）1 名

〒286 - 0221 千葉県富里市七栄 653 - 2

電話 0476 - 92 - 2301 布田原

医療法人長谷川会 湘南ホスピタル

募集：言語聴覚士 非常勤

対象：介護療養型医療施設での嚥下リハビリ中心

〒251 - 0047 神奈川県藤沢市辻堂 3 - 10 - 2

電話 0466 - 33 - 5111 担当：事務長 服部

医療法人社団健脳会 千葉脳神経外科病院

募集：言語聴覚士（有資格者）1 名

〒263 - 0001 千葉市稲毛区長沼原町 408

電話 043 - 250 - 1228 リハビリテーション科 岡本

医療法人 福寿会

募集：常勤、非常勤 経験者・新卒者 若干名

対象：失語症・構音障害・摂食嚥下障害他、
老健・通所リハ・クリニック外来・訪問リハ

東京都足立区梅田 7 - 18 - 11 電話 03 - 5681 - 0336

本部人事課 横山または ST 森

佐倉市ことばと発達の相談室

募集：言語聴覚士 非常勤 1 名（有資格者で経験者を希望）

対象：小児（就学前児）の言語・聴覚相談及び指導、
幼児健診等の言語・聴覚相談

〒285 - 0825 千葉県佐倉市江原台 2 - 27

電話 043 - 485 - 6711（田中、北見）

千葉新都市ラーバンクリニック

募集：言語聴覚士 常勤 1名（経験者・新卒可）
対象：嚥下障害、高次脳機能障害、失語症、構音障害など
入所、デイケア個別リハ 併設クリニック・外来、
訪問看護ステーションからの訪問もあり
〒270 - 1337 千葉県印西市草深 138
電話 0476 - 40 - 7711 事務長か ST の飯塚

浦安市こども療育センター

募集：言語聴覚士 非常勤 1名（経験者希望）
対象：0～18歳 言語相談・訓練（個別とグループ）
〒279 - 0042 千葉県浦安市東野 1 - 7 - 1
電話 047 - 354 - 2722 所長 岡崎

国保小見川病院

募集：言語聴覚士 常勤 1名（新卒可）
対象：成人言語障害・嚥下障害
香取郡小見川町南原地新田 438 電話 0478 - 82 - 3161
リハビリテーション科 PT 大塚、庶務課長 高根

はさまレインボークリニック

募集：言語聴覚士 非常勤 1名（経験者優遇）
対象：通所リハビリテーション 利用者
〒274 - 0822 船橋市飯山満町 3 丁目 1345 - 1
電話 047 - 496 - 3883 事務長代行 蔵本

リハビリテーション土気

募集：急募 随時
対象：成人（外来、入院）
千葉市緑区土気町 446 - 52 電話 043 - 205 - 6211
事務長 岩佐

東京医薬専門学校

募集：常勤または非常勤（応相談）
対象：講義（成人・小児） and/or 附属施設での小児臨床
東京都江戸川区東葛西 6 - 5 - 12 電話 03 - 3688 - 6161
言語聴覚士科 高平

介護老人保健施設 ハートケア流山

募集：言語聴覚士 常勤・非常勤
対象：成人失語症、構音障害、高次脳機能障害、嚥下障害
流山市小屋 146 - 1 電話 04 - 7178 - 2200

介護老人保健施設 ユーカリ優都苑

募集：常勤または非常勤
対象：入所（一般・ショートステイ） 通所リハ
千葉県佐倉市青菅 1010 - 15
開設準備室 PT 加藤 佐倉市南ユーカリが丘 11 - 2
S Y ビル 電話 043 - 460 - 7117

坂の上外科

募集：言語聴覚士 常勤もしくは非常勤 1名
対象：一般外来リハ、通所リハ、訪問リハ、
千葉市緑区土気町 311 電話 043 - 294 - 5551
リハビリテーション科 PT 波平